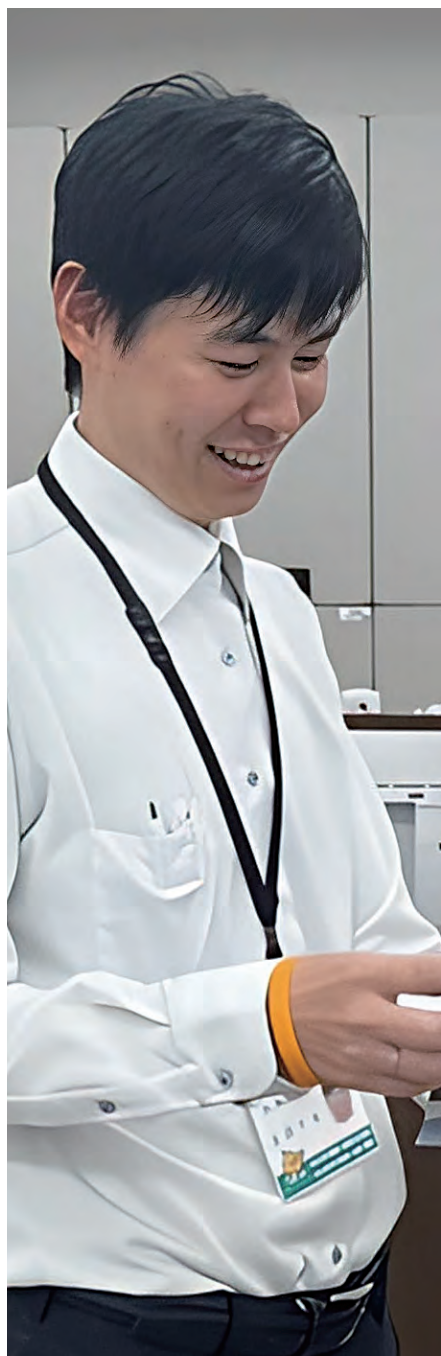




JAわかやま

さあ、わかやまで働こう

RECRUITING GUIDE





INDEX

和歌山県農業協同組合(JAわかやま)とは	04
JAわかやまの組織概要	05
協同組合・JA	06
JAの事業	08
JAわかやま Q&A	12
JAわかやまが大切にしていること	14

01

和歌山県農業協同組合 (JAわかやま)とは



実りある豊かな**農業**と暮らしやすい**地域社会**を守るため、

様々な事業を行い、**地域**の人々と**共に**歩んできた本県JAグループ。

— 令和7年4月、新JA『**和歌山県農業協同組合 (JAわかやま)**』が誕生 —

将来にわたって**和歌山**の農業を守り、さらなる**地域の活性化**を目指します。





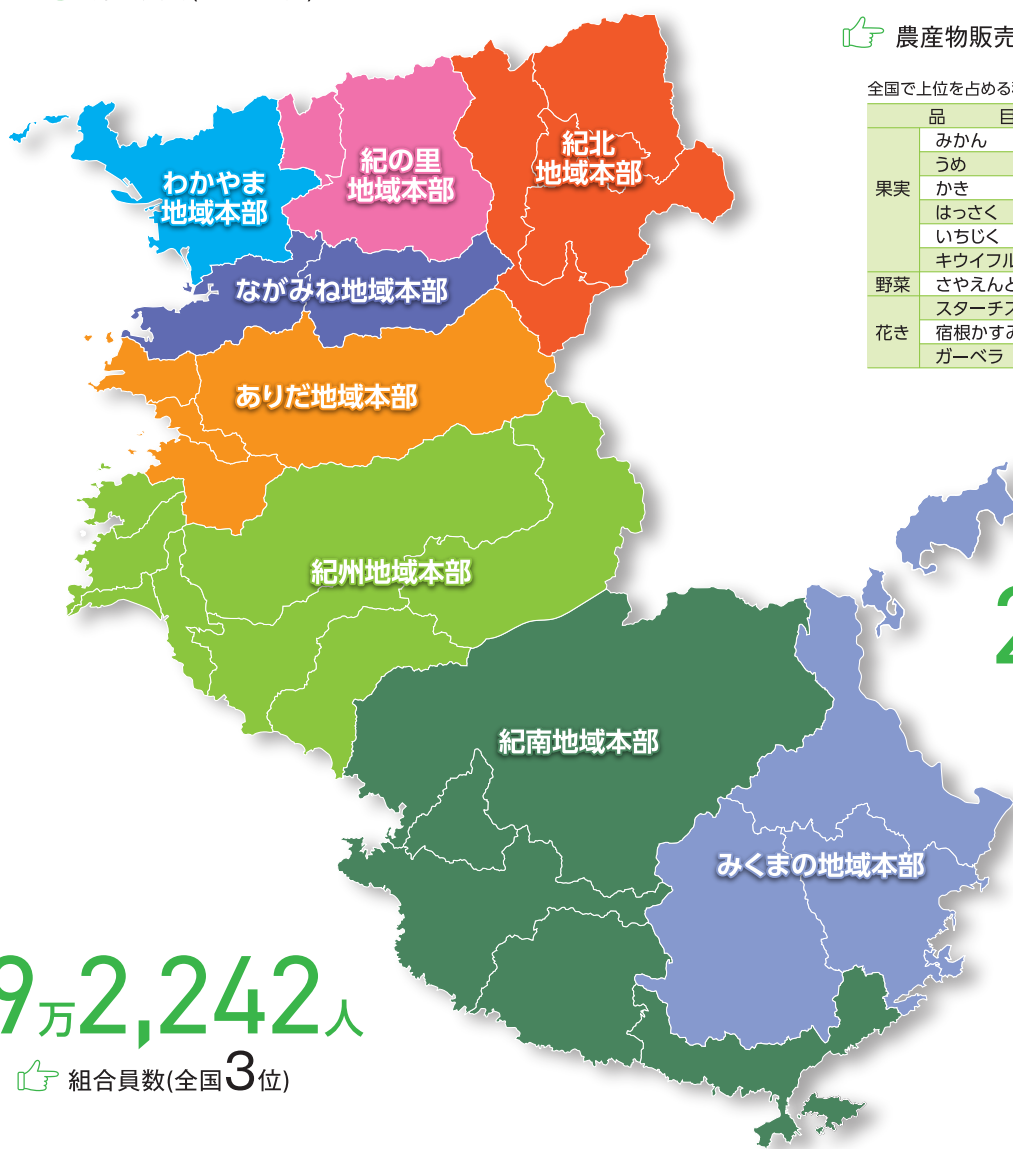
02 JAわかやまの組織概要

1兆8,334億円

👍 貯金残高(全国3位)

563億円

👍 農産物販売高(全国3位)



全国で上位を占める和歌山県の主な農産物

品目	全国順位	
果実	みかん	1位
	うめ	1位
	かき	1位
	はっさく	1位
	いちじく	1位
野菜	キウイフルーツ	3位
	さやえんどう	2位
花き	スターチス	1位
	宿根かすみそう	3位
	ガーベラ	3位

2,648人

👍 職員数(全国2位)

19万2,242人

👍 組合員数(全国3位)

3兆1,116億円

👍 長期共済保有高(全国5位)

305億円

👍 購買品取扱高(全国4位)

(注) 8JA合計の実績金額(R6.3月末時点)、全国JAグループ内の順位です

03 協同組合・JA

What's 協同組合?

協同組合は、共通の利益を実現するために、個々では弱い立場にある人々が集まり、互いに助け合うこと(=相互扶助)によって、自分たちの暮らしや地域をよりよくしていこうとして作られた組織です。世界中の様々な業界に存在し、2016年11月には協同組合がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

「一人はみんなのために、
みんなは一人のために」

が世界の協同組合の合言葉



えみ
笑味ちゃん

食と農の大切さを伝えるJAグループのキャラクター。いつも明るく元気で、食べることが大好きな小学2年生。

協同組合の特徴

1 目的

組合員の経済的・社会的地位の向上

協同組合は、組合員の生産活動や生活の向上を目的としており、利潤の追求(株式の価値上昇や多くの配当金)を目的としていません。

2 3つの顔

出資者、利用者、運営者が組合員

協同組合は、組合員の組合員による組合員のための組織です。組合員は、出資者・利用者・運営者を兼ねた3つの顔をもっているといわれます(「三位一体性」)

3 運営方法

1人1票制

株式会社では議決権が1株1票であるのに対し、協同組合では、設立時からの人間平等主義が受け継がれ、議決権は1人1票となっています。

	協同組合	株式会社
目的	組合員の経済的・社会的地位の向上	利潤の追求 (株式の価値上昇+多くの配当金)
組織者(出資者)	農業者等【組合員】	投資家、法人【株主】
事業と利用者	事業は根拠法で限定 利用者は組合員	事業は限定されない 利用者は不特定多数の顧客
運営者	組合員(その代表者)	株主の代理人としての専門経営者
運営方法	1人1票制	株式会社

三位一体性



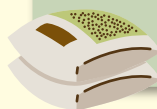
What's JA?

JAとは、農業協同組合の英語での頭文字をとったものです。農業協同組合は、農業者の協同組合で、農家や地域住民が出資しあって組織されています。

JAは、組合員である農家や地域住民のより良い営農活動や豊かな暮らしを実現するため、次のような事業を行っています。

Japan (日本の) Agricultural (農業) Co-operatives (協同組合)

組合員の農業生産に必要な肥料や農薬などの資材を共同で購入し、組合員に供給する



農家の生産活動において、農業の技術や経営について相談にのったり、生産された農作物を販売したりする



貯金の入出金や住宅ローン・カーローンの貸し出しなどを行う信用事業



生命、建物、自動車などの保障を行う共済事業



高齢者福祉事業、食農教育活動、地域貢献活動



など

What's 組合員?

協同組合は、組合員を対象に幅広い事業を展開しています。また、JAは農業者により組織された協同組合ですが、農業をしていない方でもサービスを利用可能で、組合員になることもできます。



正組合員

農業者・農業を営む法人



准組合員

農業はしていないが、JAの事業を利用する人

04 JAの事業



営農指導事業

営農技術や農業経営の指導

組合員のよりよい営農と生活のため、営農技術や農業経営の指導を行う事業です。農業経営の改善や農業所得の向上、地域の総合的な農業生産力の拡大を目指し、地域農業の担い手とコミュニケーションを深めながら営農活動をサポートしています。

- 組合員農地の巡回による農業技術・農業経営に関する相談対応
- 病虫害発生や気象状況に応じた営農情報の配信
- 安心・安全な農産物に向けたトレーサビリティの管理
- 新規就農者支援のための相談会や農業体験会の開催
- 税理士と連携した組合員の税務申告サポート



「よかったわ」の一言が
何より嬉しい

自然相手の農業では、台風により農産物が飛ばされてしまう等アクシデントが付き物。非常事態の際は、農家の生活を守るため、県や国から補助金を獲得します。また、生産サポートの一環として、農家さんを連れての視察研修や卸売市場の方を招いた勉強会を企画・実施することもあります。

「お陰で儲かったよ」という声をいただくときが一番嬉しいです。若くても経験が浅くても頼ってもらえる、すごくやりがいのある仕事です。



販売事業

農産物の共同販売

組合員である農家の生産物をJAが販売する事業です。JAが集約して品質や規格をそろえ、個人では難しいスケールメリットを発揮でき、農業所得の向上に寄与しています。またJAが直売所を運営することで、農家の販路を拡大するとともに、消費者に新鮮な農産物を届けています。さらに、現在では、生産物を加工して販売する「6次産業」や海外への輸出にも取り組んでいます。

- ブランド確立に向けた企画立案
- 品質向上のための農産物の選別・検査
- 価格単価や予定数量等の市場担当者との交渉
- 各イベントへの出展や広報活動による農産物のPR
- ファーマーズマーケット(直売所)の運営やECサイトでの通販



マニュアルはない、
だから面白い

仕事の魅力は、商売の醍醐味が味わえること。市場の動向を見極め、できる限りいい条件を探り当てる。1日の取引額は億単位になります。「新しいもの好き」の風土で、SNSの運営やデコトラックなど斬新なプロモーションにも力を入れています。ファッションショーとのタイアップでは、モデルさんに農産物の宣伝をしていただいたことも。“ナチュラルサプリ”ともいえるヘルシーな農産物により、日本中の人を健康にしたいです。



購買事業

生産資材・生活物資の共同購入

組合員が農業生産に必要な資材(肥料や農薬、農機具など)や食品、日用雑貨などの生活に必要な物資を共同購入することによって、質の良い資材等を適正な価格で供給する事業です。共同購入とは、低価格で組合員に提供するために、メーカーと交渉して物資の大量購入を行うことをいい、農産物を生産するためのコストを削減することで、農家の農業所得向上につなげています。

- 農業資材メーカーとの交渉・発注
- 組合員の要望を踏まえた農薬・肥料等農業資材の提供
- 農機具の修理・点検などのアフターサービス
- 地域インフラを支えるためのガソリンスタンド運営
- 買い物難民支援のための移動購買車の運行



頼られることが、 手応えに

よりおいしく、質の良い農産物を作るのに欠かせないのが、高品質な農業生産資材。良質な資材をメーカーから大量購入し、適正な価格で組合員に提供しています。入組時は、農薬や肥料の品目の多さに驚くばかりでしたが、今では組合員からの質問にも答えられるようになり、頼られることも多く、手応えをもって仕事に励んでいます。



信用事業

貯金の受入れ・資金の貸付け

貯金をはじめ、融資や振込、口座振替などの総合金融サービスを提供する事業です。全国のJAグループがまとまった信用事業の総称を「JAバンク」と呼び、一体的な事業体制のもと、組合員・利用者のライフプランの実現に向けて、一人ひとりの資産状況・ニーズ等に寄り添った提案活動に取り組んでいます。

- 支店での口座開設や貯金の入出金、振込手続
- 組合員・利用者宅への訪問活動、集金サービス
- 農業振興等の事業資金融資や各種ローンの提案
- 国債や投資信託、NISAやiDeCo等の資産運用
- 弁護士と連携した相続など金融・法律の相談会開催



支店の皆を引っ張る 存在を目指して

口座開設から事業資金融資、資産運用の提案まで、幅広い金融サービスを取り扱うJA。窓口では、あらゆるニーズに応えるため、何を聞かれても慌てず対応できる知識が求められます。目標を達成するため、支店というチーム一丸で頑張る日々です。窓口担当者の技能を競う「ロープレ大会」にも出場し、優勝したことも! これからは、先輩・後輩をサポートできるまとめ役を果たしたいと思っています。





共済事業

万が一に備える総合保障

相互扶助の理念に基づき、組合員の生活の安定と将来の安心のための総合保障を提供する事業です。組合員が掛金を積み立て、事故や災害、病気があった場合等に共済金を支払うことで、互いに暮らしを守り合っています。

人を対象にした生命保障と、建物等を対象にした損害保障をあわせて実施しているのが特徴です。

- 来店者の相談内容を踏まえた各共済商品の内容説明・提案
- 継続的な組合員・利用者宅への訪問による近況確認・共済の提案
- 農作業中のケガや賠償リスクなど農業者向け共済の案内
- 入院・手術代の請求や共済金の支払い等の契約者対応
- 交通事故発生時の駆けつけ、状況確認等の現場対応



／ ガムシャラに、とことん やってみたい ／

JA共済は、生命保障と損害保障をあわせた、ひと・いえ・くるまの総合保障です。提案する商品は多岐にわたり、幅広く生活をサポートすることができます。慣れない営業活動でしたが、1年目から最前線で働くチャンスがあり、「わからないからと恐れてはいても良くならない」と次々に利用者を訪問したことが支店の業績に繋がりました。



その他にも…

JAグループは、「国」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」する、「国消国産」という考え方を提起しています。JAわかやまでは、地域住民の食の安心を支え、次世代までこの和歌山の豊かな農業を守り続けるため、農業を応援するJAファンを増やす取り組みを行っています。

食農教育活動

子どもたちに食や農業の大切さを伝える「食農教育活動」。生産者の協力による農業体験では、自然を相手にする面白さと収穫の喜びを体感し、地域の方が先生として活躍する料理体験では、地元農産物を活かしたおいしさを味わうなど、様々な学びの場を提供しています。



地産地消の取り組み

JAわかやまは14の農産物直売所（ファーマーズマーケット）を運営しており、地元の採れたて新鮮な農産物が集まります。商品に農家さんの名前が入っているのは、おいしさや安全への自信の証で、生産者と消費者をつなぐ交流の場としても賑わっています。





地域貢献活動

JAわかやまでは、和歌山で暮らす方々のため、様々な地域貢献活動を行っています。

愛をコメてプロジェクト



長期保存が可能で加温調理する衛生面での心配が少ないコメ。1合分の袋につめて(コメテ)持ち寄り、フードバンクに寄贈する取り組みです。役員職員約3,500人を対象



に行っており、寄贈したお米は累計11,111袋。ごはん茶碗に換算すると24,444杯にも及びます。

こども食堂への食糧寄贈



柑橘類やタマネギなどをこども食堂へ寄贈。地元のごどもたちが、地元で採れた農産物を食べるきっかけづくりとして取り組んでおり、大人も有料で参加できる世代を超えた地域の集いの場となっています。



交通安全啓発運動



和歌山県警察と連携した、学生に事故の恐ろしさや交通ルールを伝える交通安全教室。プロのスタントマンが、自転車運転中の「ながらスマホ」や見通しの悪い道からの飛び出しなど、事故となった現場を再現。交通ルールを守り、安全で豊かな学校生活を送って欲しいとの願いから取り組んでいます。



ICT教育支援



県内の学校に「65型電子黒板」を寄贈。タブレット画面を共有しながらの相互操作により、生徒参加型の双方向性の授業が可能に。JAは、行政が推進するICT教育の加速を支援し、地域で暮らすごどもたちの学びを応援しています。



グリーンウォーク in 和歌山



和歌山県内79カ所で一斉に行われる清掃活動。美しく住みよいまちを実現するため、「こんにちは、JAです」と書かれたジャンパーを羽織り、ゴミを拾います。県生協連、県漁連、県森連などが合同で主催。協同組合の協同により、約1,700人もの関係者が参加しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



05 JAわかやま Q&A



休日休暇はどれくらいあるのでしょうか？



- 原則、土日・祝は休日（一部シフト勤務あり）
- 年次有給休暇（最大20日）
- JAわかやま独自の特別休暇もあり！
- リフレッシュ休暇（年1回3連休取得可能）
- ボランティア休暇
（地元の祭りや自治会活動参加時に使用可能）
- 褒賞休暇（勤続年数に応じて特別休暇付与）

プライベートの
計画を
立てやすい！



仕事についていけるか不安…。
特別な資格や経験は必要ですか？



研修制度がとても充実しており、特別な資格や経験は必要ありません。

- **階層別研修**…人・業務・地域をマネジメントできる人材の育成
例) スタートアッププログラム／監督者研修／管理者研修 ほか
- **部門別研修**…高度な専門性を有する人材を育成
信用事業／共済事業／経済事業／その他の各種事業別の研修

農業や地域のことを知らなくても、一から学べますので、
安心して就職いただけます。



宿泊できる研修施設、JA和歌山学園も運営！



安心できる職場で長く勤めたいです。
福利厚生はどのようなものがありますか？



退職金制度、慶弔見舞金、制服貸与、財形貯金制度あり！
病気やけがにより働けなくなった場合には最長2年の休職
制度があり、安心して働けます。

- 出産休暇（産前6週間、産後8週間）や育児休業（最大2歳
まで）、母性保護制度、育児短時間勤務、子の看護等休暇、
産後パパ育休制度も完備！
- 介護休業や介護休暇も！



地元で働きたいです。転勤はありますか？



事業エリアは、和歌山県内全域となりますが、原則、実家か
ら通える事業所での勤務となります（本店勤務等、転居を
伴う異動が生じる場合があります）。



一緒に働きたい人は
どのような人ですか？



Mutual Aid



Communication



Passion



- 協同組合の理念を大切にし、相互扶助の精神で地域社会に貢献
したい方
- コミュニケーションを大切にし、元気で明るく誠意と思いやりの
ある行動をとれる方
- 目標達成への情熱を強く持ち、主体的・積極的に行動できる方



06 JAわかやまが大切にしていること

JA綱領

JAには、組合員・役職員の共通の理念として、「JA綱領」があります。

「JA綱領」には、JAが農業と地域社会に根ざした組織として、農業はもちろん、食や緑、さらには環境・文化・福祉を通じて地域社会とともに歩む存在であることが記されています。

JA綱領 わたしたちJAのめざすもの

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

JAマークについて

農産物の包装やダンボールに印刷されているJAマークは、「JA」をロゴマークとしてデザインしたものです。

安定感のあるデザインは、「ゆるぎない大地」「日本の国土」をイメージしており、全体の三角形は「自然」を、Aの部分は「人間」をあらわしています。Jの左側の円は、「農業の豊かさ」「実り」と協同の精神に基づく「人の和」を象徴しています。

マークの緑色は「JAグリーン」といい、自然環境と成長を象徴し、深みのあるやさしさを感じさせるものです。



さあ、JAわかやまで、働こう

さて、私たちからお願いします。

これから働くことを考えると、仕事についていけるだろうか、立派な社会人になれるだろうか、と悩むこともあるでしょう。

— でも、JAわかやまなら、大丈夫。

求めるものは、「和歌山が好き」「農業・地域のために何かしたい」という気持ちだけ。

様々な仕事がありますが、初めは誰もが未経験。失敗したっていいんです。

同じ気持ちを持った仲間が、昔の自分を重ねて支えてくれます。

和歌山の農業を発展させる責任と、地域の暮らしを支える使命のため、

安定した経営基盤を持つ、県内トップクラスの組織に生まれ変わるJAわかやま。

地元で長く働き、自分らしいライフプランを組み立てられます。

あなたを見守る人も安心できる職場で、自信を持って働けます。

地域のために、“やってよかった”と心から思える仕事ができます。

和歌山で一番、あなたに近い組織です。

さあ、JAわかやまで、働こう。





名称 和歌山県農業協同組合
設立 令和7年4月1日
本店 和歌山県JAビル 和歌山県和歌山市美園町五丁目1番地1
拠点 地域本部 8ヵ所 支店支所 75ヵ所 県外事務所 4ヵ所
資本金 281億円
職員数 2,648人

(令和6年3月時点)